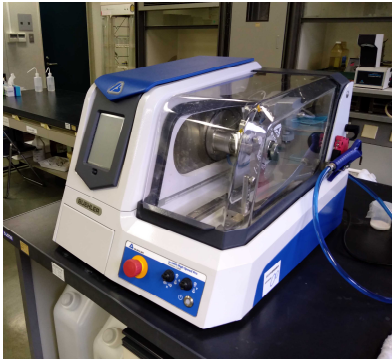


顕微鏡観察・硬さ測定等の評価試料作製および評価技術の研修(精密切断機などの活用研修)

ご案内

大分県産業科学技術センター

材料、部品の研究開発や品質の判定を行う上で、顕微鏡観察や硬さ測定等は重要な評価となっています。これらの評価には、切断や研磨等の試料の前処理が求められることもあります。そこで、当センターが所有する評価試料作製装置や評価試験機（金属顕微鏡、硬さ試験機）を用いて技術研修を開催します。本研修では、個別に試料をお持ち込みいただき、評価試料作製装置と評価試験機を用いた実習を行います。皆様のご参加をお待ちしています。



精密切断機
公益財団法人 JKA の補助により導入



評価試料作製装置
(自動研磨装置)



薄膜硬度計
(ビッカース硬さ)

■日時 : 案内開始日から令和3年2月26日(金)の間で随時

■場所 : 大分県産業科学技術センター 材料開発棟

■対象者 : 初めてご利用される皆様や久しぶりのご利用で操作に不安な皆様等

■講師 : 大分県産業科学技術センター 金属担当職員

■内容

- (1) 試料作製方法および評価試験の基本的注意事項(説明、30分程度)
- (2) 評価試料作製方法の実習(3時間程度) ※所要時間は試料の内容により変動します。
- (3) 評価試験の実習(1時間程度)

■定員 : 1回につき3名以内(原則1人1回、1団体3回までです。)

■受講料 : 1人1,200円 (機器貸付料更新の時期によっては、受講料が変更されることがあります)

■受付 : 随時 (次のページの申込書にご記入の上、メールまたはFAXでお申込み下さい。)

■問合せ(申し込み先)

大分県産業科学技術センター 金属担当 園田

TEL: 097-596-7100 FAX: 097-596-7110 E-mail: m-sonoda@oita-ri.jp

■その他

- ① 開催日時は、土日祝日を除く8:30~17:00の時間帯で、担当者との打ち合わせにより調整します。
- ② 作製する試料の個数は、1回あたり同一試料3個までです。

